データで見る中小企業の動き

全国中小企業動向調査（中小企業編）の結果概要

2016年7-9月期実績、10-12月期、および2017年1-3月期見通し

『中小企業の景況は、弱い動きはみられるものの、緩やかに回復している』

日本政策金融公庫総合研究所は10月21日、「全国中小企業動向調査結果（2016年7-9月期実績、10-12月期以降見通し）」を発表した。

今回調査のポイント

①	業況判断 DI	４期ぶりに**上昇**。来期以降も**上昇**が続き、プラス水準となる見通し。
②	売　　上 DI	４期連続で**低下**し、マイナス水準。来期以降は**上昇**する見通し。
③	価格関連 DI	販売価格DI・仕入価格DIともに９期連続の**低下**。
④	純 益 率 DI	３期ぶりに**上昇**。来期は**低下**、来々期は**上昇**する見通し。
⑤	従 業 員 DI	前期から**低下**。来期以降は**上昇**する見通し。
⑥	設備投資実施企業割合	前期から**上昇**し、高水準を維持。

DI（ディフュージョン・インデックス）

当調査のDIは、回答結果の分散程度を指数化したものです。質問に対し「プラス」「中立」「マイナス」の３つの選択肢を用意し、「プラス」の選択肢に回答した企業の割合から「マイナス」の選択肢に回答した企業の割合を差し引いた値で、基本的に「変化の方向」を表します。

DATA
- 調査時点：2016年9月中旬
- 調査対象：日本公庫中小企業事業取引先13,352社
- 有効回答企業数：6,490社（回答率48.6％）

①-1 業況判断

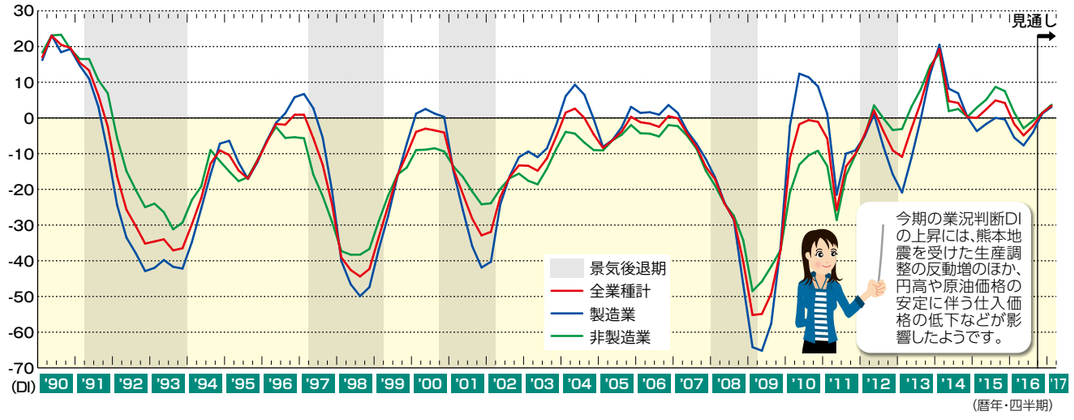
4期ぶりに上昇

▲4.9 ▷ ▲2.3　UP

- 現状　業況判断DI（前年同期比、「好転」－「悪化」企業割合）は、前期から2.6ポイント上昇し、▲2.3となった。
- 見通し　来期以降も上昇が続き、プラス水準となる見通し。

業況判断 DI の推移＜季節調整値＞

※前年同期比、「好転」－「悪化」企業割合

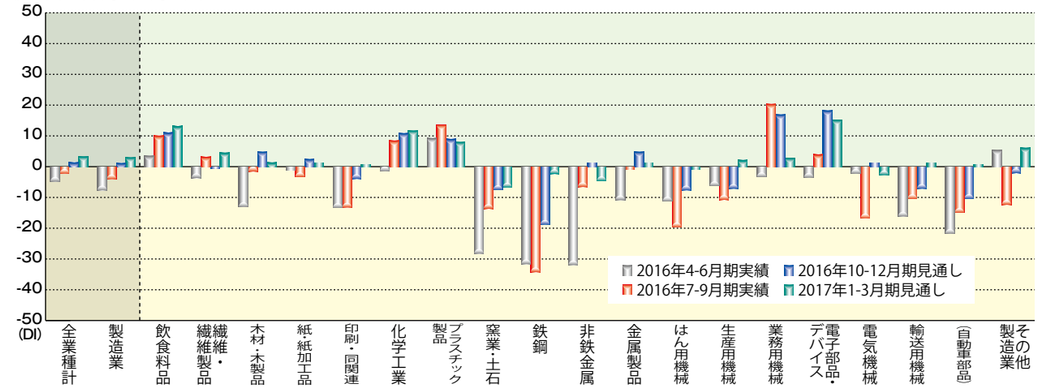


①-2 業種別業況判断

製　造　業：自動車関連など幅広い業種で上昇
非製造業：卸売、小売業がマイナス幅を縮小

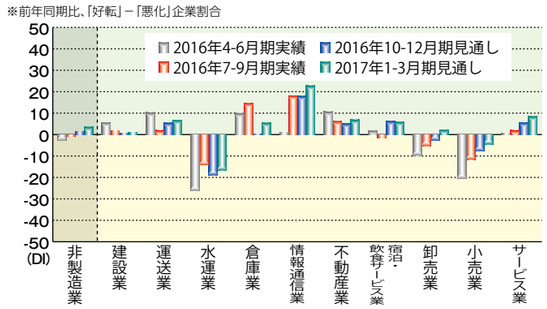
製造業　業種別業況判断 DI の推移＜季節調整値＞

※前年同期比、「好転」－「悪化」企業割合



非製造業 業種別業況判断DIの推移〈季節調整値〉

※前年同期比、「好転」－「悪化」企業割合



●製造業
前期の熊本地震による生産調整の反動もあり、輸送用機械や金属製品などでマイナス幅が縮小した。また、仕入価格の低下により、飲食料品、化学工業、プラスチック製品などが上昇した。一方、はん用機械などの設備関連業種では、マイナス幅が拡大した。来期以降も上昇が続く見通し。

●非製造業
非製造業では、卸売業、小売業などでマイナス幅が縮小したほか、情報通信業ではプラス幅が拡大した。来期以降も上昇が続く見通し。

①-3 地域別業況判断

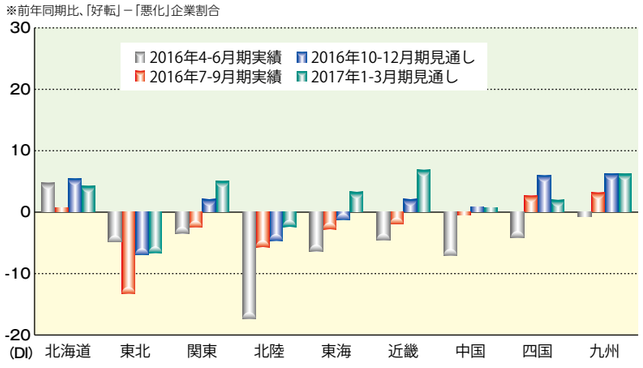
3地域でプラス水準

業況判断DIを地域別にみると、今期は北海道、四国、九州の3地域でプラス水準となった。

来期は、関東、近畿、中国の3地域を加えた6地域でプラス水準となる見通し。

地域別業況判断 DI の推移＜季節調整値＞

※前年同期比、「好転」－「悪化」企業割合



全国中小企業動向調査（中小企業編）について

当調査は、中小企業の景気動向などを把握するために、日本公庫中小企業事業のお取引先のご協力を得て1959年以来3カ月ごとに実施している調査です。調査結果については、中小企業の分野においてわが国を代表するビジネスサーベイの１つとして、関係各位から高い評価を得ています。

② 売　上

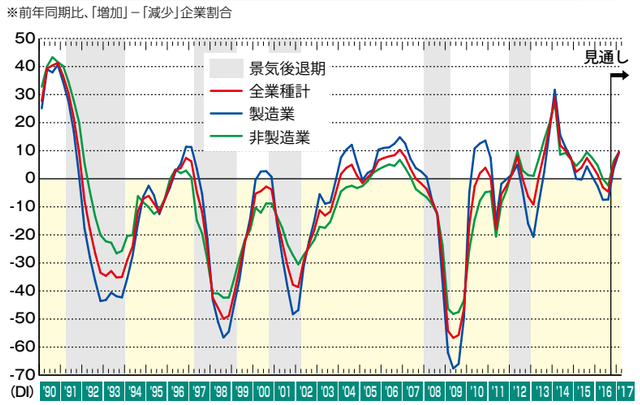
4期連続で低下

▲3.1 ▷ ▲4.6

DOWN

売上DI（前年同期比、「増加」－「減少」企業割合）は前期から1.5ポイント低下し、▲4.6となった。売上DIの低下は4期連続である。来期以降は上昇が続き、プラス水準となる見通し。

売上DIの推移＜季節調整値＞



③-1 販売価格

9期連続の低下

▲4.8 ▷ ▲7.2

DOWN

販売価格DI（前年同期比、「上昇」－「低下」企業割合）は、前期から2.4ポイント低下し、▲7.2となった。低下は9期連続。来期以降は上昇する見通し。

③-2 仕入価格

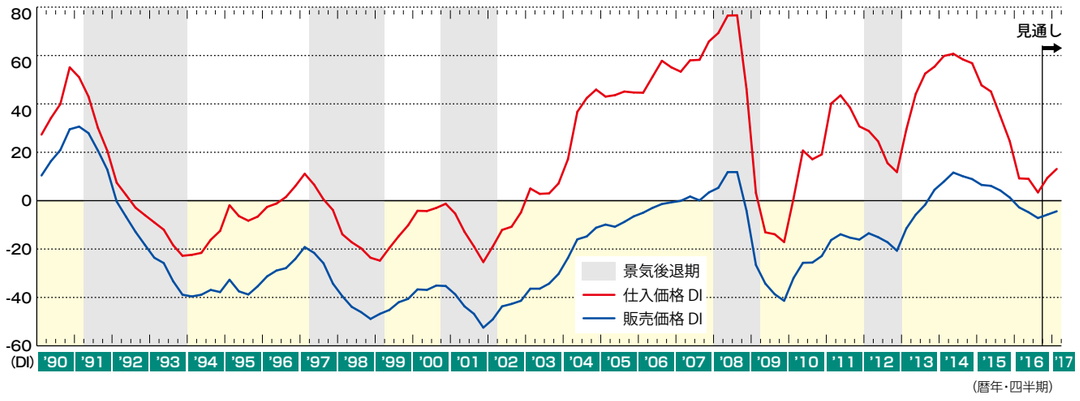
9期連続の低下

9.0 ▷ 3.4

DOWN

仕入価格DI（前年同期比、「上昇」－「低下」企業割合）は、前期から5.6ポイント低下し、3.4となった。低下は9期連続。来期以降は上昇する見通し。

価格関連DIの推移＜原数値＞



④ 利　益

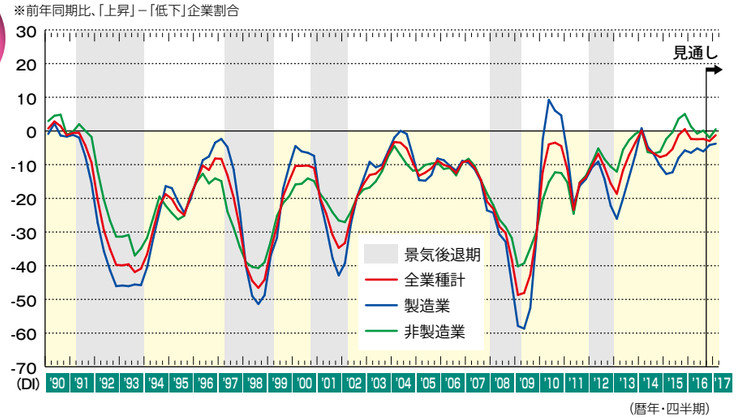
3期ぶりの上昇

▲2.5 ▷ ▲2.4

UP

純益率DI（前年同期比、「上昇」－「低下」企業割合）は▲2.4と、前期から0.1ポイント上昇した。来期は仕入価格の上昇見通しなどを反映して低下するものの、来々期は上昇する見通し。

純益率DIの推移＜季節調整値＞



⑤ 雇　用

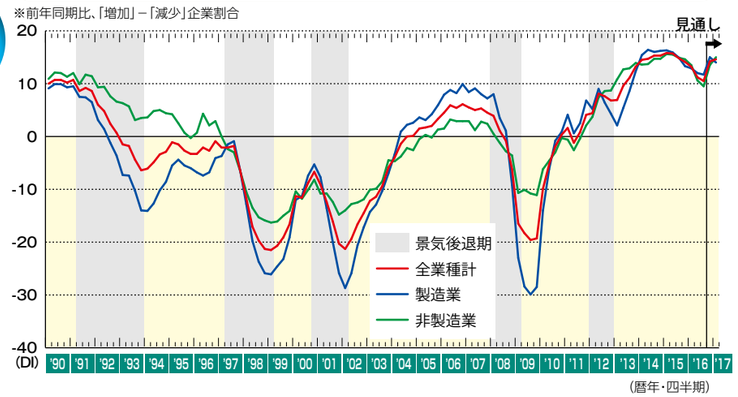
6期連続の低下

11.2 ▷ 10.5

DOWN

従業員DI（前年同期比、「増加」－「減少」企業割合）は、前期から0.7ポイント低下し、10.5となった。低下は6期連続である。来期以降は上昇する見通し。

従業員DIの推移＜季節調整値＞

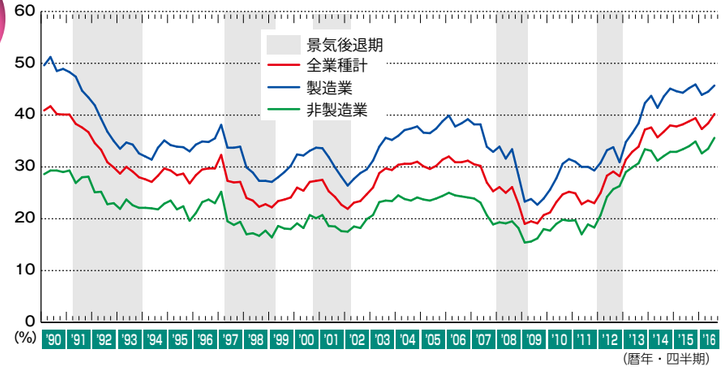


⑥ 設備投資実施企業割合

高水準を維持

38.4 ▷ 40.2

UP

設備投資実施企業割合は、前期から1.8ポイント上昇の40.2％となり、引き続き高い水準を維持している。

設備投資実施企業割合の推移＜季節調整値＞